

自動撮影型 OCT

iScan[®]

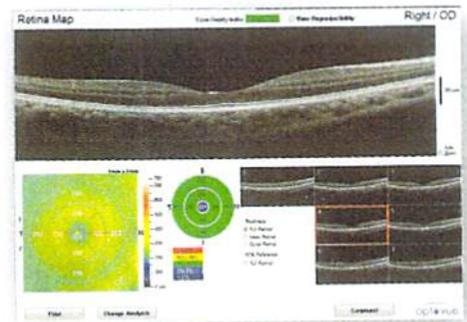


optovue

黄斑部の網膜厚を測定し厚みマップ、ラインスキャン画像を表示します。Cross Line に加え、3D スキャンでは黄斑部の立体的な観察が可能です。

■ Retina Map スキャン

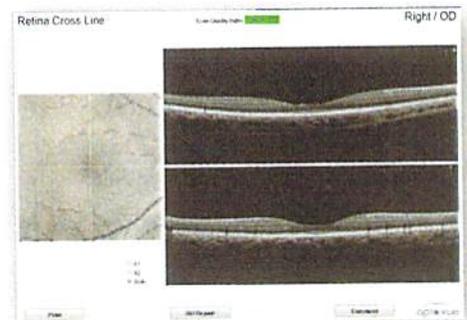
- > 黄斑部を中心とした 6 mm × 6 mm の範囲をスキャン
- > 網膜厚マップを作成し、En Face 画像に重ね合わせて表示
- > 中心部の 7 本の高解像度 OCT 画像を網膜厚マップとともに表示
- > 厚みマップは網膜の全層、外層、内層のいずれかを選択可能
- > 網膜全層については有意差マップの表示が可能



Retina Map

■ Retina Cross Line スキャン

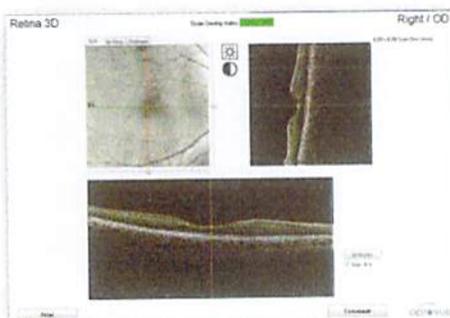
- > 長さ 6 mm の直交する 2 本のスキャンにより網膜の任意の場所の高解像度 OCT 画像を取得、表示
- > スキャン角度も任意に設定可能
- > 眼底像に画像取得部位を表示するとともに縦、横それぞれの OCT 画像を表示



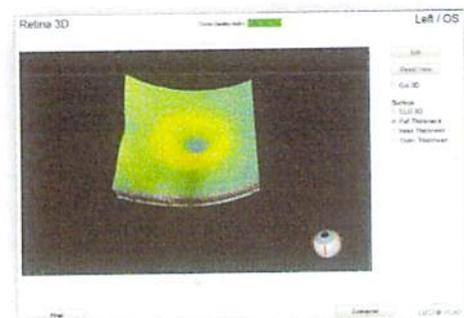
Retina Cross Line

■ Retina 3D スキャン

- > 6 mm × 6 mm の領域に対して 128 本のスキャンを取得
- > 黄斑周囲の任意の場所について水平方向と垂直方向の OCT 画像を疑似 SLO 画像とともに表示



Retina 3D



Retina 3D_3D 表示

製品の特長

Optovue®社の iScan は従来機 iVue-100 の構成要素をコンパクトなスタイルにまとめ、音声誘導による高度な自動撮影機能を備えた一体型 OCT です。

臨床に必要な基本スキャンに加え、効率よくスクリーニングを行うスキャンを搭載しています。

■ 自動撮影※1

- > 患者情報の入力後、スタートボタンをタップすることで自動撮影を開始
位置合わせ、画像の最適化、次のスキャンへの移行など全自動で行う
- > 必要に応じてマニュアル撮影も可能
- > 音声ガイドにより、撮影中の固視移動等を誘導し、検者の負担を大幅に軽減



マニュアル操作画面

■ 洗練された操作性

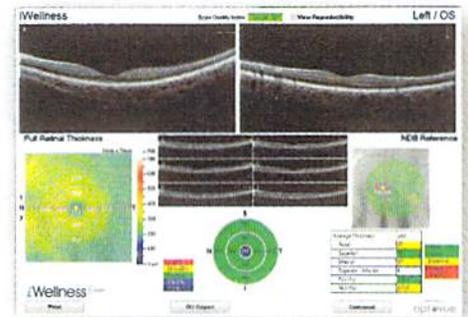
- > タッチパネルによる直観的な操作
- > アイコンにより簡易操作



各種アイコン

■ iWellness

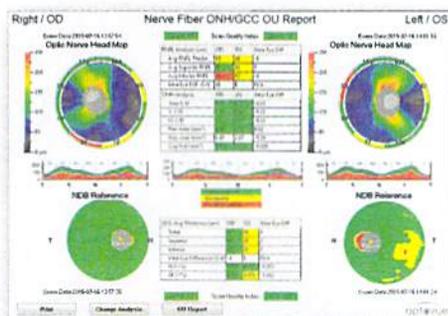
- > 一回のスキャンで Retina Map と Nerve Fiber GCC を取得
- > OCT 画像、網膜全層マップ、GCC NDB 参照マップ、GCC 厚情報を一画面に表示



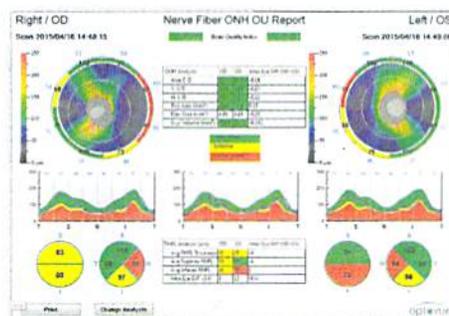
iWellness

■ 同時表示機能

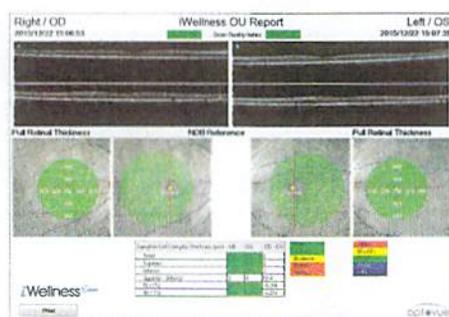
- > RNFL 厚と GCC® 厚の結果を同時表示
- > 左右眼同時表示
- > 変化分析 (2回~最大4回まで)



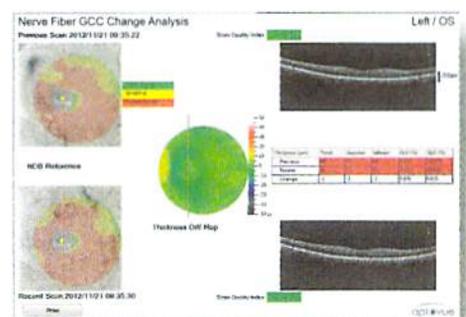
Nerve Fiber ONH / GCC 両眼レポート



Nerve Fiber ONH 両眼レポート



iWellness 両眼レポート

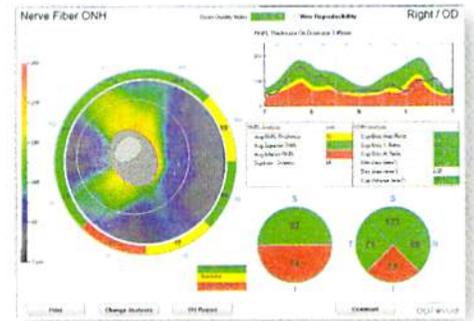


Nerve Fiber GCC 変化分析

視神経乳頭周辺部の RNFL 厚の測定結果と正常眼データベースとの比較結果をグラフィカルに表示します。また緑内障診断の有力な指標である GCC (Ganglion Cell Complex) 厚の測定、視神経乳頭部の 3次元表示が可能です。

■ Nerve Fiber ONH スキャン

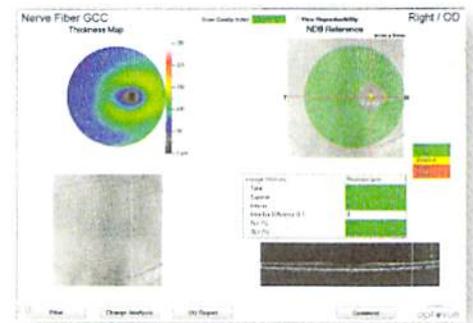
- > 13本のリングスキャンにより RNFL の厚みを測定し、12本のラジアルスキャンにより視神経乳頭の形状を把握
- > C/D 比、乳頭面積、陥凹部の体積等の値を表示
- > 測定した厚み値を2分割、4分割、8分割の領域毎の平均値とともに表示
- > 視神経乳頭周囲直径 3.45 mm の円周上の RNFL 厚を正常眼データベースと比較しカラーマップで表示するとともに TSNIT グラフで表示
- > 疑似 SLO 画像をオーバーレイ表示



Nerve Fiber ONH

■ Nerve Fiber GCC スキャン

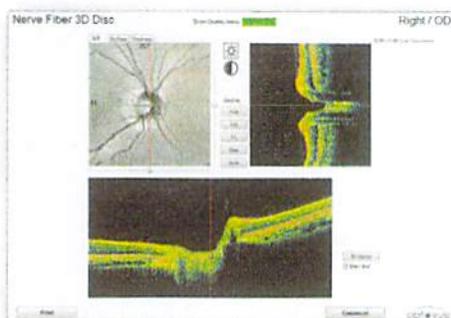
- > 垂直方向 15本、水平方向 1本のスキャンにより GCC の厚みを測定
- > 黄斑部の直径 6 mm の範囲に関する厚みマップと、正常眼データベースとの比較に基づくマップを表示
- > GCC の局所的な菲薄化を示す指標 FLV (Focal Loss Volume) と全体的な菲薄化を示す指標 GLV (Global Loss Volume) をパーセントの値とカラーコードで表示
- > 疑似 SLO 画像をオーバーレイ表示



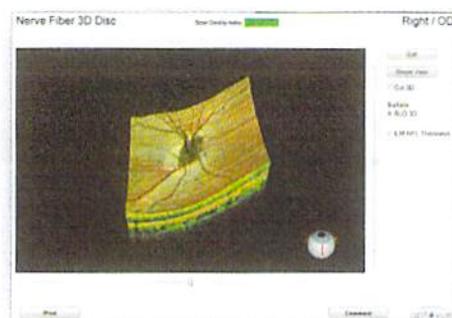
Nerve Fiber GCC

■ Nerve Fiber 3D スキャン

- > 6 mm × 6 mm の領域に対して 128本のスキャンを取得
- > 視神経乳頭周囲の任意の場所について水平方向と垂直方向の OCT 画像を疑似 SLO 画像とともに表示
- > 疑似 SLO 画像の代わりにアンファース画像、網膜厚マップの選択が可能
- > 3D 表示で任意の方向からの観察が可能



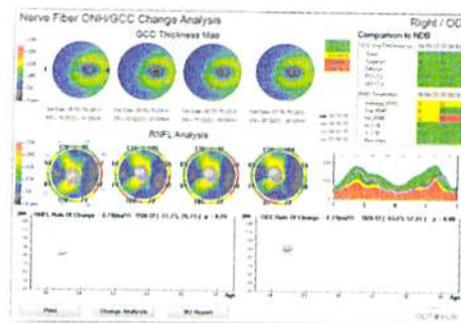
Nerve Fiber 3D Disk



Nerve Fiber 3D Disk_3D 表示

■ 変化分析とトレンド解析機能

- > ONH、GCC 両スキャンパターンを撮影して一画面で表示
- > 最大 4 回の撮影画像を並べて表示
- > 年間変化率、変化率の 95% 信頼区間等をグラフで表示



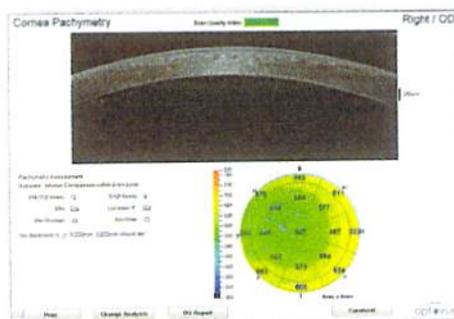
Nerve Fiber ONH/GCC 変化分析レポート

Cornea

付属の CAM (Cornea Adapter Module) を取付けることで、角膜厚の測定、評価および隅角の画像取得と角度の測定が可能です。

■ Cornea Pachymetry スキャン

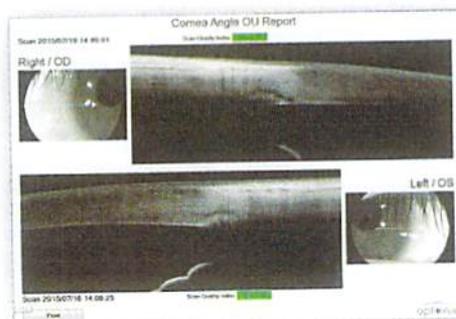
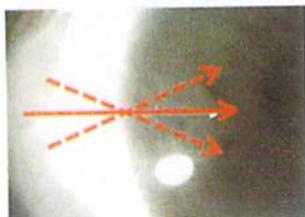
- > 長さ 6 mm、8 本のラジアルスキャン
- > 直径 6 mm の角膜厚マップとパキメトリー評価を表示
- > 両眼同時表示および変化分析画面の表示が可能



Cornea Pachymetry

■ Cornea Angle スキャン

- > 長さ 5 mm のラインスキャンにより隅角の高解像度 OCT 画像を取得、表示
- > 角度は 0°~ 180°の範囲で可変
- > スキャンの角度を変えることで涙液メニスカスの観察が可能
- > 隅角測定ツールにより隅角の定量的評価が可能
- > 両眼測定結果を一画面に並べて表示可能



Cornea Angle 両眼レポート

主な仕様

仕様

OCT 画像スキャンレート	25,000 A スキャン / 秒
フレームレート	1,024A スキャン / フレーム
解像度 (組織内)	深さ方向 : 5 μ m
	横方向 : 15 μ m
画像サンプリングレート	横方向 : 8 μ m
	深さ方向 : 2 mm または 2.3 mm
スキャンレンジ (Retina)	横方向 : 2 ~ 12 mm
波長	830 ~ 850 nm
瞳孔への露光パワー	700 ~ 750 μ W

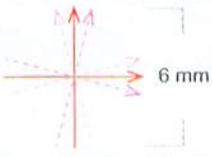
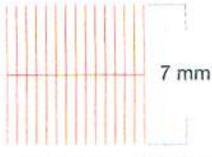
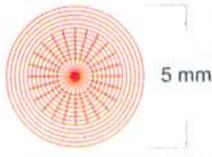
寸法・質量 (本体)

寸法	425(W) x 450 (D) x 450 (H) mm
質量	約 20 kg

電氣的定格

電源, 周波数	AC 100V, 50/60 Hz
電源入力	4.0 A

主なスキャンパターン

名称	図
Retina Map	 6 mm
Retina Cross Line	 6 mm
GCC	 7 mm
ONH	 5 mm



※1 Cornea スキャンは自動撮影非対応

- > 本仕様およびデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。
- > カタログの記載内容：2015年12月現在

販売名 フーリエドメイン OCT iVue 500
 認証番号 226ABBZX00125000
 製造業者 Optovue Inc.

 中央産業貿易株式会社

<http://www.chuosangyo.co.jp/>

本社	〒662-0977 兵庫県西宮市神楽町4-7	Tel.0798-26-7889	Fax.0798-26-7856
東京営業所	〒110-0005 東京都台東区上野1-10-8	Tel.03-5812-0825	Fax.03-5812-0824
名古屋営業所	〒456-0021 愛知県名古屋市中区夜寒町4-10	Tel.052-682-5355	Fax.052-682-7277
福岡出張所	〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚8-1-67	Tel.092-624-7744	Fax.092-624-7756